



Tough Flooring

タフフローリング

表情豊かな浮造り加工が施された高圧メラミン化粧板を表面材として採用し
メラミンと複合フローリングの良い所を合わせた
デザイン性と機能性を兼ね揃えたハイブリッドなフローリングです。



タフフローリングは床材にタフさを求める物件にオススメです。

- 店舗
- ペットを飼われている家
- 商業施設
- 保育施設
- オフィス
- 介護施設
- ホテル
- 賃貸物件

Tough

- 🏆 4倍の耐傷性/鉛筆硬度9H ※1
- 🏆 4倍の耐摩耗性 ※1
- 🏆 床暖房対応
- 🏆 防汚性
- 🏆 耐圧傷性
- 🏆 耐焦性
- 🏆 低VOC, F★★★★

※1一般的なウレタン塗装のフローリングと比較した場合



釘打ち仕様の場合：緩衝材無し
直貼り仕様の場合：2mmカルブ材
直貼り遮音仕様の場合：4mmポリウレタン材

本商品は受注生産品です。

タフフローリングタイプ	形状	サイズ・入り数	設計上代 (税抜き・送料別途)
捨て貼り釘打ち仕様	143 12	12 x 143 x 1818 (mm) 12枚入り・3.12㎡/ケース	12,000 円/㎡ 37,400 円/ケース
直貼り仕様	143 11	11 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡/ケース	13,200 円/㎡ 41,200 円/ケース
直貼り遮音仕様	143 13	13 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡/ケース	15,600 円/㎡ 48,700 円/ケース

Advantage Points / 製品特徴



キャスター・車椅子対応

一般的なフローリングに比べて耐摩耗性と耐圧傷性に優れている為、車椅子やキャスター付きの椅子を使用した際も一般的なフローリングに比べ傷が付きにくくなっています。

※ 使用頻度や材質・形状によっては、表面に傷や汚れがつくことがあります。



引っ掻き傷に強い

タフフローリングは一般的なフローリングに比べて耐傷性に優れていて、表面の硬さは9H(鉛筆硬度)あるので、ペットの爪傷にも安心です。一般的なフローリングは2H~4Hです。



犬・猫・ペット 対応

爪傷に強い耐傷性と汚れを簡単に拭き取れる防汚性をもつため飼い主様の負担を減らします。また滑りにくい凹凸のある表面はペットのストレスを軽減します。



焦げにくい

耐焦性があるので万一の際にも安心です。火のついたタバコを1分放置した場合、一般的なフローリングですと周囲が大きく焦げてしまいますがタフフローリングは多少跡がつく程度です。



土足OK

汚れに強く、耐傷性、耐摩耗性がある事から、タフフローリングは土足で使用されても、一般的なフローリングに比べ格段に汚れ・傷に強い仕様になっています。
※ 傷が全く付かないという事ではありませんので予めご了承ください。



床暖房対応

タフフローリングは温度・湿度の変化にも強く、変化が少ないので床暖房に対応しております。



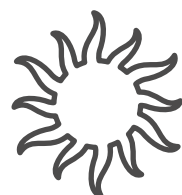
汚れにくい

一般的なフローリングに比べて汚れが付きにくく、撥水性があるので簡単に拭き取る事ができます。頑固な汚れには一般的なフローリングでは絶対にNGであるメラミンスポンジを使用する事も可能です。※1

No Wax

メンテナンスフリー

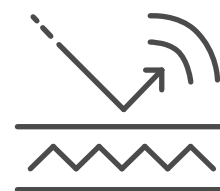
タフフローリングは高圧メラミン化粧板を採用しているので定期的なワックスやオイルなどのメンテナンスは必要ありません。簡単な掃除のみで長期に渡り状態を維持する事が可能です。



日焼けしにくい

タフフローリングは一般的なフローリングに比べて紫外線による退色や経年変化による変色は極めて少ないので長い間納品時の状態を楽しんで頂けます。

※ 紫外線による退色を全くしないという事ではありません。日射熱によるヒビを防ぐ為にもレースのカーテン等を使用して頂く事をお勧め致します。



遮音仕様対応

タフフローリングは遮音仕様のご用意がありますのでマンションなど遮音性が求められる場所にも対応可能です。LL45・LH55の性能を持ちます。

※ 遮音仕様はクッション材を使用している為、歩いた際に柔らかく沈む感じがします。



リアルな表情

メラミンの耐傷性を維持しながら浮造り(エンボス)仕様に仕上げました。立体的な凹凸により、よりリアルに天然木のような表情を持ちます。

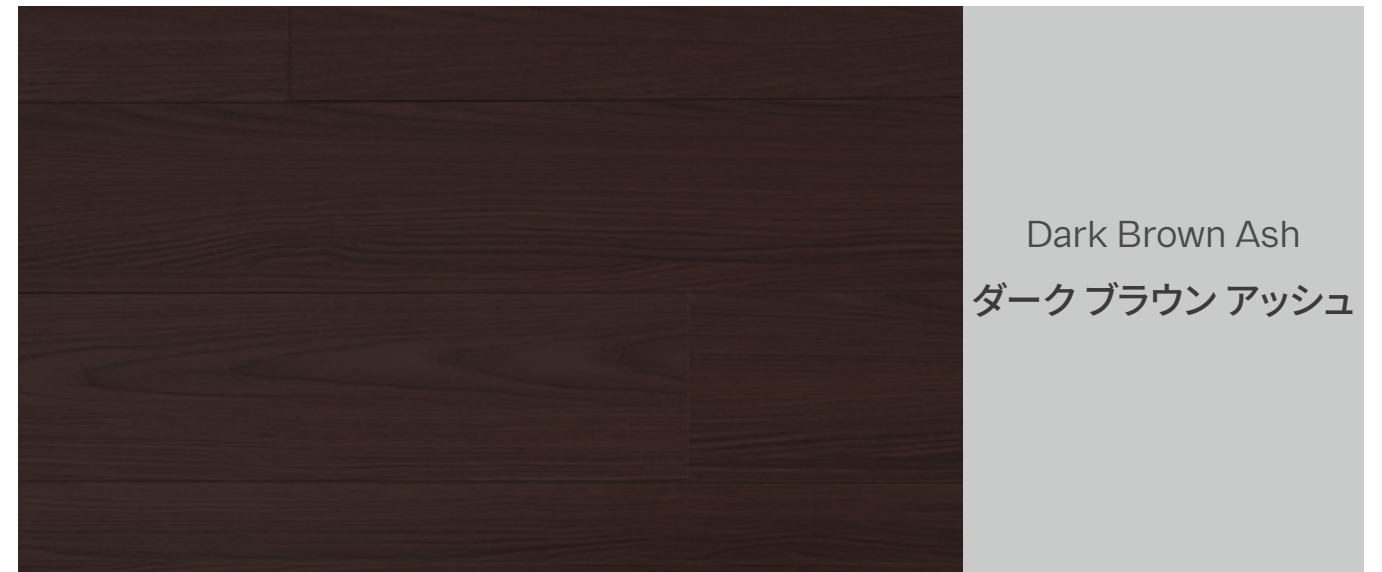


滑りにくい

表面の浮造り仕上げの凹凸があるので、平らなフローリングに比べて滑りにくく、高齢者や小さいお子さま、ペットなどご家族の快適な歩行に配慮した作りになっています。

※1 面取り部やサネ部分は耐水・防汚性はございませんので、汚れなどが付いた場合は速やかに拭き取って下さい。

Products colors / 製品カラー



Construction Guide / 施工ガイド

製品の性質上、保管状況や使用環境によって、反り・割れ・狂いを引き起こす場合があります。必ず本ガイドをよくお読み頂き、ご理解の上、施工してください。製品に不具合があった際は必ず施工前にご連絡下さい。施工後の不具合は保証し兼ねますのでご了承下さい。

施工場所 及び 基本的注意事項

本商品は内装専用の床材です。

- 本商品は屋外では使用できません。また、屋内でも洗面室やトイレ等、水回りにはご使用なれません。カビの発生や腐れ、ヒビ割れ、剥がれなどの原因となります。
- 1.0mを超えるような連続した長い床貼りとなる場合は見切りを入れて下さい。
- 水分や直射日光を避け、湿気がこもらないように換気がある場所でご使用下さい。床下換気口を設置して下さい。
- ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。補強対策しインシュレーター等を使用して下さい。
- エアコン等の冷暖房機器や換気システム、全館空調システムなどを使用する場合、吸排気の風が床面に直接当たらないようにして下さい。過度の乾燥により材の収縮・反り・割れの原因となります。

商品の取り扱い

- 湿度の高い場所、換気が不十分な場所、直射日光の当たる場所での保管は避けてください。保管する際は、反り・曲がり・損傷の原因となりますので、絶対に立て掛けず平置きで保管して下さい。
- 水濡れの可能性がある環境への施工はお控え下さい。配管周りや開口部の結露にもご注意下さい。

施工前の確認事項

[施工後の交換・保証不可]

- 商品に不良品や傷・色等の不具合点がありましたら、必ず施工前にご相談ください。※施工後の交換保証は不可。
- 下地の水濡れがない事・下地の乾燥が十分である事（含水率12%以下）を予め確認して下さい。
- 施工1週間前には開梱しフローリングを出来るだけ広げ施工現場環境に馴染ませてから施工してください。

施工に於いての注意・禁止事項

- 釘打ちの際、フィニッシュネイルは絶対に使用しないで下さい。(ヘリンボーンは除く)
- エンドマッチ部分に釘打ちをしないで下さい。
- 木工ボンド(酢酸ビニルエマルジョン系の接着剤)は使用しないで下さい。
- 接着剤は実部分に入らないようにして下さい。
- 壁際のクリアランスは必ず3ミリ以上(複合)確保して下さい。

タフフローリングタイプ	形状	サイズ・入り数	施工下地
捨て貼り釘打ち仕様		12 x 143 x 1818 (mm) 12枚入り・3.12㎡/ケース	根太有り:合板12mm以上 根太無し:合板24mm以上 二重床 :合板12mm以上
直貼り仕様		11 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡/ケース	コンクリートスラブ
直貼り遮音仕様		13 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡/ケース	コンクリートスラブ

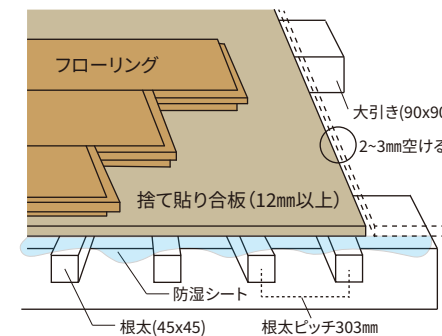
捨て貼り釘打ち仕様

[接着剤&釘 併用]

捨て貼り釘打ち工法 下地注意点

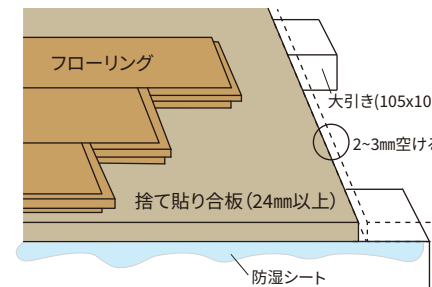
- 床下地は段差の無いようにして下さい。(1mm以下)
- 施工前に床下地は十分に清掃し、表面のゴミ・油などを取り除いて下さい。
- 床暖房用を使用する場合は、下記下張り合板の上に熱源体(温水マット・暖房パネル)を施工して下さい。
- 床下(コンクリート)等は含水率10%以下であることを確認してから施工して下さい。
含水率が高いと接着不良や反り、突き上げ、カビなどが発生する恐れがあります。

捨て貼り釘打ち工法【根太有り】※捨て貼り合板：構造用合板12mm以上



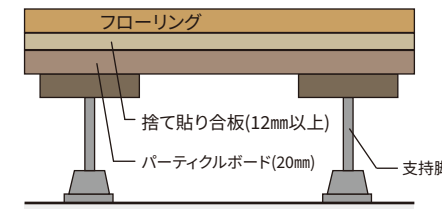
- 大引き90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥材(含水率15%以下)を使用し、プレーナーをかけ平滑に仕上げてください。
- 根太は、釘保持力の良い、乾燥米松かアピトンが最適です。シロアリの被害も起き難くなります。
- 大引き間隔は909mm、根太間隔は303mmとし、レベル(水平)を出して施工して下さい。
- 必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の構造用合板を使用してください。
- 捨て貼り合板の間は、2mm程度あけて施工してください。
- 捨て貼り合板の上に、根太の芯位置を墨打ちしてください。
- 0.1mm厚以上のポリエチレン防湿シートを根太と下地合板の間に敷込み施工してください。

捨て貼り釘打ち工法【根太無し】※捨て貼り合板：構造用合板24mm以上



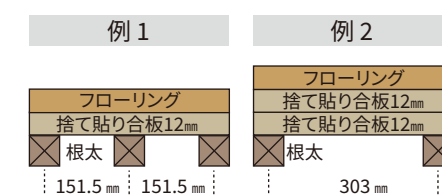
- 大引き105mm角以上の乾燥材(含水率15%以下)を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- 大引き間隔は910mmとし、レベル(水平)を出して施工してください。
- 必ず合板の捨て貼りをし、合板は24mm以上の構造用合板を使用し、構造用合板とフローリングが直交するように張り込んで下さい。(合板の含水率は12%以下)
- 捨て貼り合板の間は、2mm程度空けて施工してください。
- 0.1mm厚以上のポリエチレン防湿シートを大引と下地合板の間に敷込み施工してください。

捨て貼り釘打ち工法【二重床工法】※捨て貼り合板：構造用合板12mm以上



- ベースパネル(パーティクルボード)に直交するように12mm以上の構造用合板を必ず捨て貼りして下さい。
- ベースパネルの目地に釘打ちすると床鳴りの原因になります、目地は避けて固定して下さい。
- 下張り合板の間は、2mm程度空けて施工してください。
- RC構造の場合は、必ず0.1mm厚以上のポリエチレン防湿シートを敷き込んで防湿対策を施してください。コンクリートからの湿気がフローリングの膨張の原因となります。

重量物設置時の補強処理例



- 例1 根太間隔を151.5mmにしてください。
- 例2 12mm以上の捨て貼り合板を2重にしてください。

フローリングの貼り込み

① 割り付け

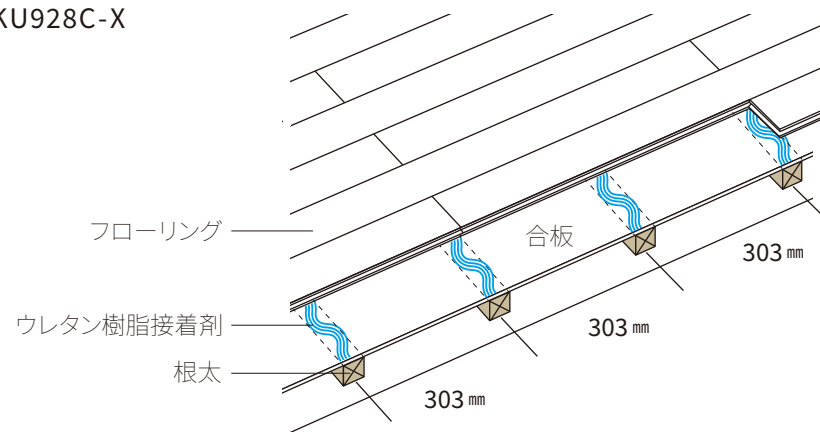
- 下貼り合板の継ぎ目とフローリングの継ぎ目が重ならないようにご注意ください。
- 下貼り合板上に根太位置を墨出しして下さい。
- 短辺部（エンドマッチ）のジョイント部が根太上にくるように割り付けをしてください。
- フローリングは根太と直交するように割り付けしてください。

② 貼り込み

<接着剤の塗布>

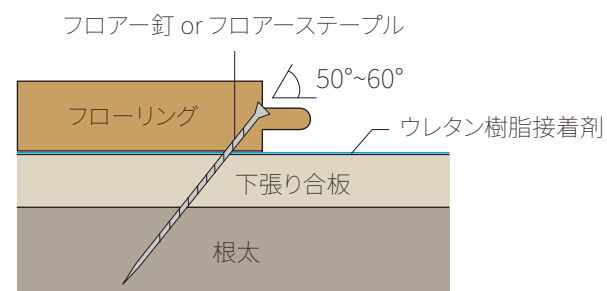
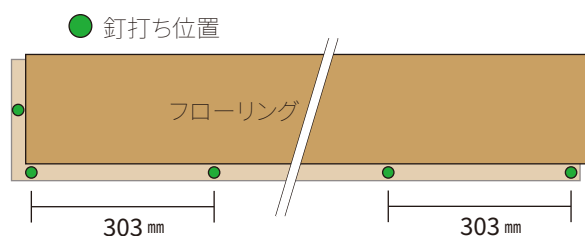
- 接着剤は1液型ウレタン樹脂接着剤を根太上に303mm間隔で塗布して下さい。
- ※ 短辺部の接続部分裏面に接着剤が十分に付着するようにして下さい。
- ※ サネ部分には接着剤を絶対に付けしないで下さい。（付着した場合は速やかに拭き取って下さい）
- ※ 酢酸ビニール系、木工ボンド系は使用しないでください。
- ※ 接着剤が硬化するまで（24時間以上）上に乗らないで下さい。

参考接着剤：コニシ(株)KU928C-X



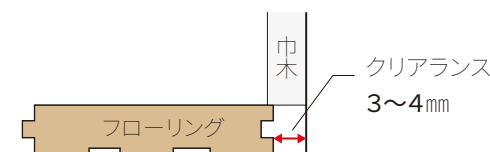
<釘の打ち込み>

- フロアー釘（38mm以上）、又はフローステープル（38mm以上）を使用して長辺雄サネ側は303mm間隔・短辺雄サネ側は1ヶ所をしっかりと根太に打ち込んで下さい。
- 必ず接着剤と併用して施工して下さい。
- 雄サネの付け根から斜め50～60度で根太に入るよう打ち付けて下さい。
- 壁際は合板などを挟んで隙間（3～4mm）を確保して下さい。
- ※ 打ち込み時、釘の頭がめり込み過ぎないように適切なエア圧を設定して下さい。



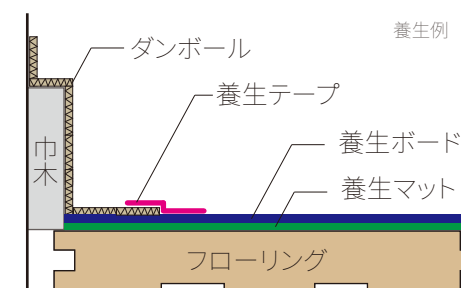
<クリアランスの確保>

- 湿度により伸縮しますので気候条件・季節・室温などの影響を考慮して施工して下さい。通常は軽く触れているか空いている程度で冬場の乾燥時期は気持ち空け気味で施工して下さい。
- 壁際は合板などを挟み、必ず壁際から2～3mm程度のクリアランスを空けてください。（地下室や湿気が多い場所・地域では更に隙間を取ってください）
- 敷居、ドア枠、扉等と平行する部分にはスペーサーを用い、0.4mm程度のクリアランスを必ず設けて下さい。両端が敷居などの場合は、それ以上の十分なクリアランス確保が必要です。
- 掃きだし窓のサッシなどは結露などによる水濡れの可能性が高い為、端部にタッチアップ用の塗料を塗り、コーキング剤などでしっかりと防水処理をして下さい。



③ 養生

- 床面の塵・ホコリ・粉などを掃除機で綺麗に吸い取った後、傷・汚れ・日焼けを防ぐために養生マットの上に養生ボードを重ね張りし施工面全体を覆い隠して下さい。
- 養生テープをフローリングに直接貼らないで下さい。粘着剤が付着し汚れや変色の原因となります。
- ※ 止む得ず養生テープを貼る必要がある場合は、弱粘着力養生テープを使用し短時間で剥がして下さい。剥がす際はゆっくりと剥がして下さい。



④ その他

- ワックス等のフロアコーティングは不要です。

捨て貼り釘打ち仕様

[接着剤&釘 併用]



床暖房にフローリング施工する際の注意点と施工方法

※小根太付き温水マット以外の発熱パネルの場合は発熱パネルメーカーの施工要領に従い弊社製品との適合を十分に確認した上で施工して下さい。

<小根太付き温水マットの場合>

- 小根太付き温水マットとフローリングの適合を確認した上で施工をおこなって下さい。
- 小根太付き温水マットは各メーカーの施工要領に従って施工して下さい。
- ※施工後は接着剤が硬化するまで（1週間以上）、絶対に床暖房の使用は避けて下さい。

① 割り付け

- フローリングの短辺側のサネ接続が小根太上になるようにフローリングの割り付けをして下さい。
- 小根太とフローリングが直交するように割り付けて下さい。

② 貼り込み

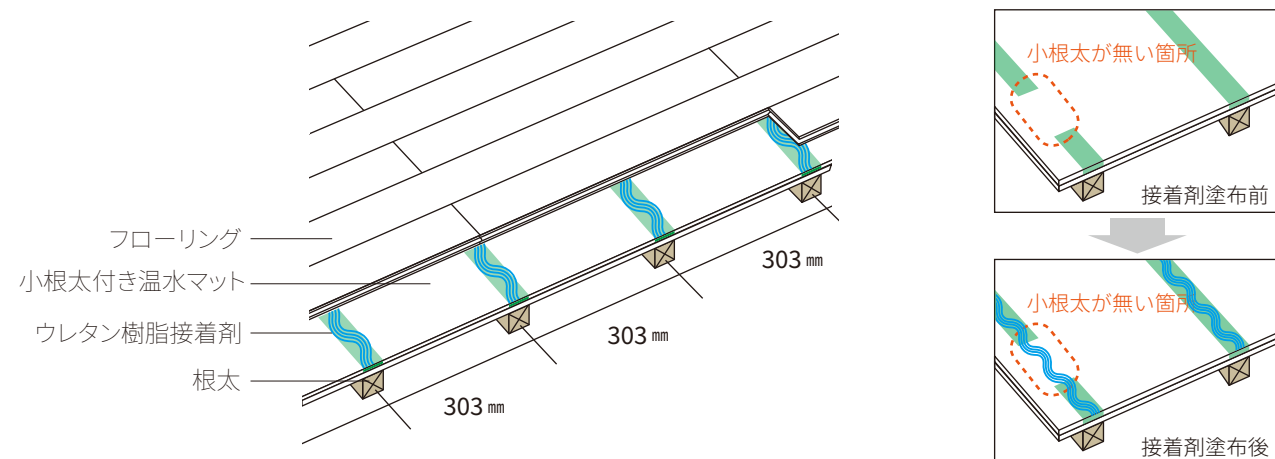
<接着剤の塗布>

- 接着剤を温水マットの小根太上に303mm間隔で塗布して下さい。参考接着剤：コニシ(株)KU928C-X
- 必ずフローリング短辺の端に接着剤が付着するように塗布して下さい。
- 温水マットの小根太が途切れてい箇所は接着剤量を増やして塗布して下さい。

※サネ部分には接着剤を絶対に付けないで下さい。（付着した場合は速やかに拭き取って下さい）

※酢酸ビニル系、木工ボンド系は使用しないでください。

※接着剤が硬化するまで（24時間以上）上に乗らないで下さい。

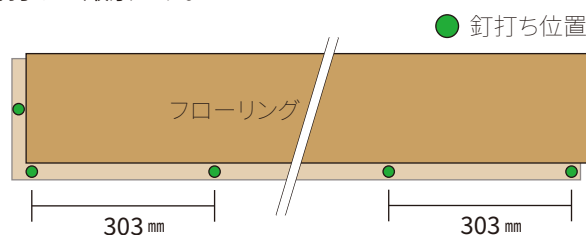


<釘の打ち込み>

- フローリング釘（3.8mm以上）、又はフロアステーブル（3.8mm以上）を使用して長辺雄サネ側は303mm間隔・短辺雄サネ側は1ヶ所をしっかりと温水マット小根太に打ち込んで下さい。
- 必ず接着剤と併用して施工して下さい。
- 雄サネの付け根から斜め50～60度で小根太に入るよう打ち付けて下さい。

※打ち込み時、釘の頭がめり込み過ぎないよう適切なエア圧を設定して下さい。

※小根太の無い箇所は釘打ちは厳禁です。



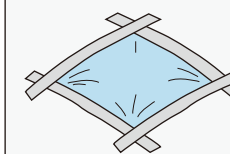
他の注意事項は【捨て貼り釘打ち仕様 / フローリングの貼り込み】をご参照下さい。

直貼り仕様

[接着剤のみ・釘不使用]

下地条件

- 厚さ150mm以上の普通コンクリートスラブが基本の下地となります。
- 下地の表面が粉ふきの多いものや表面強度が弱い場合は、接着不良や剥がれ不具合が発生する可能性があります。
- モルタルの不陸は1mにつき3mm以内であることを確認してから施工して下さい。
- モルタルが平滑で無い場合は、ワイヤブラシ付きポリッシャー等で表面の残留セメントや異物を除去して下さい。
- 施工前には掃除機やホウキで下地表面を清掃して下さい。
- ALC（軽量気泡コンクリート）板は表面がもろい為、施工不可です。モルタル等で下地調整して下さい。
- 合板・パーティクルボード・MDF・遮音マット等の下地、及び二重床・既存床への施工は出来ません。
- モルタルの乾燥度は含水率10%以下で施工して下さい。乾燥状態は下記方法で確認して下さい。



◇打設後、3週間以上経過しており最も乾燥しにくい部分において、1mX1m程度のポリシートの四周を布テープ止めで被覆密閉し、24時間以上放置後、シート下の材面が黒く変色していない事。表面が硬化していても内部が十分に乾燥していない状態で施工すると、施工後の床鳴り、突き上げ、波打ち、接着不良の原因となります。

① 割り付け・墨出し

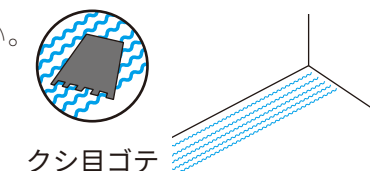
- 中央に基準線を墨出しし、平行に貼り始めのスタート線を墨出ししてから貼り始め位置を決めて下さい。
- ※ヘリンボーンタイプの場合は捨て貼り釘打ち仕様のヘリンボーン割り付けをご参照頂き墨出しして下さい。

② 貼り込み

※釘は使用しないで下さい。

<接着剤の塗布>

- 接着剤はエポキシ樹脂接着剤か直貼り用ウレタン樹脂接着剤を使用して下さい。参考接着剤：コニシ(株)E350R / KU928R等
- クシ目ゴテを使用して下地面に塗布して下さい。
- 一度にたくさん塗布せず、1列分ずつ塗布して下さい。



- ※接着剤が少な過ぎると接着不良となりますのでご注意ください。
- ※接着剤が多すぎると踏み鳴りやフロー表面にはみ出てしまいますのでご注意ください。
- ※万一、表面に付着した場合には直ちに乾いた布または溶剤等で軽く拭き取って下さい。濡れ雑巾等を使用すると硬化が進み拭き取りにくくなります。硬化後は取れませんのでご注意ください。
- ※粘度が高い接着剤を使用すると床材を押し付けても濡れず [段差] になっていしまう恐れがあります。

<貼り込み>

- フローリングの施工はゴムハンマーを使用し、表面を軽く叩いて、軽く付く程度にサネをはめて下さい。
- 壁際は合板などを挟んで隙間（3～4mm）を確保して下さい。
- ※ゴムハンマーは平使いをして下さい。
- ※フローリングをズラさないようにサネを差し込みながら施工して下さい。
- 接着剤ダマリができて歩行感が硬くなり割れやすくなります。
- ※1枚目は動かないように基準となる1枚目は動かないようにウエイト等で固定して下さい。
- ※施工時はやむを得ない場合を除き、フローリングの上に乗らないで作業して下さい。

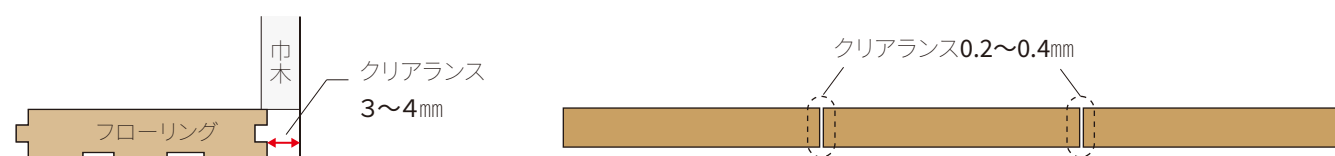


直貼り仕様

[接着剤のみ・釘不使用]

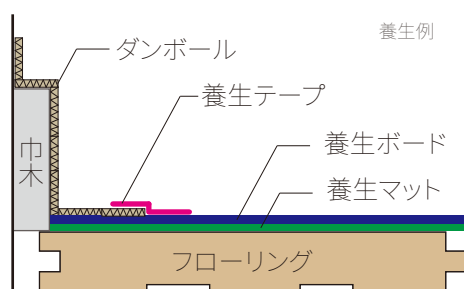
<クリアランスの確保>

- 湿度により伸縮しますので気候条件・季節・室温などの影響を考慮して施工して下さい。
通常は軽く触れているか空いている程度で冬場の乾燥時期は気持ち空け気味で施工して下さい。
- 壁際は必ず壁際から2~3mm程度のクリアランスを空けてください。
(地下室や湿気の多い場所・地域では更に隙間を取ってください)
- 敷居、ドア枠、框等と平行する部分には2~3mm程度のクリアランスを設けてコーキング処理をして下さい。
両端が敷居などの場合は、それ以上の十分なクリアランス確保が必要です。
- 掃きだし窓のサッシなどは結露などによる水濡れの可能性が高い為、端部にタッチアップ用の塗料を塗り、コーキング剤などでしっかりと防水処理をして下さい。
- 玄関から廊下、リビングまでなど縦方向に長く連続して施工する場合や、片側もしくは両側が上がり框・サッシ・敷居などで隙間を設けない突き付け施工になる場合は、波打ち・突き上げを防ぐ為、短辺サネ接続部に0.2~0.4mm程度の隙間を空けて下さい。



3 養生

- 床面の塵・ホコリ・粉などを掃除機で綺麗に吸い取った後、傷・汚れ・日焼けを防ぐために養生マットの上に養生ボードを重ね張りし施工面全体を覆い隠して下さい。
- 養生テープをフローリングに直接貼らないで下さい。粘着剤が付着し汚れや変色の原因となります。
※ 止む得ず養生テープを貼る必要がある場合は、弱粘着力養生テープを使用し短時間で剥がして下さい。剥がす際はゆっくりと剥がして下さい。
- 養生中に足場・重量物を置く場合は必ず合板などを敷き一点に荷重がかからないようにして下さい。



4 その他

- ワックス等のフロアコーティングは不要です。

🔥 床暖房用として使用する場合

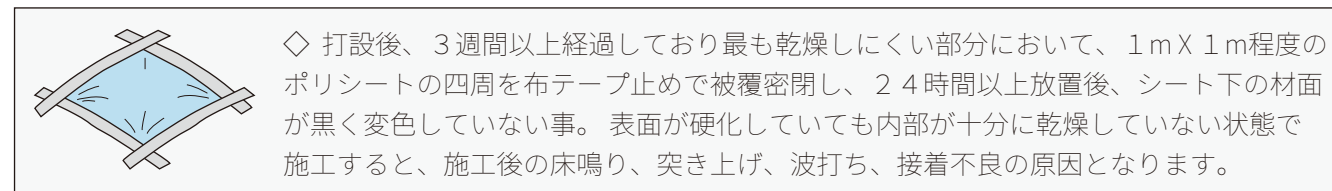
- 発熱パネルメーカーの施工要領に従い弊社製品との適合を十分に確認した上で施工して下さい。
- 床暖房パネルを含めた下地が正しく施工されている事を確認して下さい。
- 床暖房パネル間・周辺部(合板部)に隙間や段差のないよう(0.5mm以下)に調整して下さい。
- 床暖房パネルの仕様に合わせてパネル上に合板を貼る等の対策をしてから施工して下さい。
※ 施工後は接着剤が硬化するまで(1週間以上)、絶対に床暖房の使用は避けて下さい。

直貼り遮音仕様

[接着剤のみ・釘不使用]

下地条件

- 厚さ150mm以上の普通コンクリートスラブが基本の下地となります。
- 下地の表面が粉ふきの多いものや表面強度が弱い場合は、接着不良や剥がれ不具合が発生する可能性があります。
- モルタルの不陸は1mにつき3mm以内であることを確認してから施工して下さい。
- モルタルが平滑で無い場合は、ワイヤブラシ付きポリッシャー等で表面の残留セメントや異物を除去して下さい。
- 施工前には掃除機やホウキで下地表面を清掃して下さい。
- ALC(軽量気泡コンクリート)板は表面がもろい為、施工不可です。モルタル等で下地調整して下さい。
- 合板・パーティクルボード・MDF・遮音マット等の下地、及び二重床・既存床への施工は出来ません。
- モルタルの乾燥度は含水率10%以下で施工して下さい。乾燥状態は下記方法で確認して下さい。



1 割り付け・墨出し

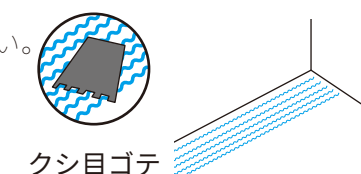
- 中央に基準線を墨出しし、平行に貼り始めのスタート線を墨出ししてから貼り始め位置を決めて下さい。
※ ヘリンボーンタイプの場合は捨て貼り釘打ち仕様のヘリンボーン割り付けをご参照頂き墨出しして下さい。

2 貼り込み

※釘は使用しないで下さい。

<接着剤の塗布>

- 接着剤はエポキシ樹脂接着剤か直貼り用ウレタン樹脂接着剤を使用して下さい。
参考接着剤：コニシ(株) E350R / KU928R 等
- クシ目コテを使用して下地面に塗布して下さい。
- 一度にたくさん塗布せず、1列分ずつ塗布して下さい。



- ※ 接着剤が少な過ぎると接着不良となりますのでご注意下さい。
- ※ 接着剤が多過ぎると踏み鳴りやフローア表面にはみ出てしまいますのでご注意下さい。
- ※ 万一、表面に付着した場合には直ちに乾いた布または溶剤等で軽く拭き取って下さい。濡れ雑巾等を使用すると硬化が進み拭き取りにくくなります。硬化後は取れませんのでご注意下さい。
- ※ 粘度が高い接着剤を使用すると床材を押し付けても潰れず「段差」になっていしまう恐れがあります。

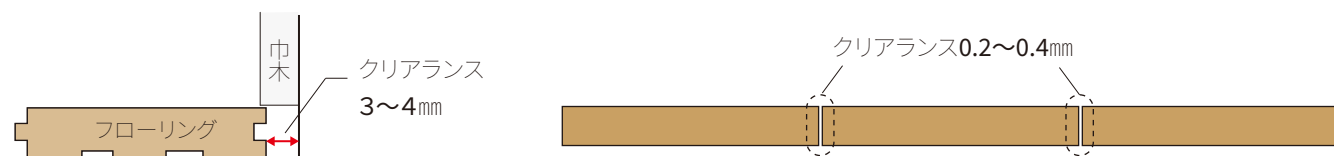
<貼り込み>

- フローリングの施工はゴムハンマーを使用し、表面を軽く叩いて、軽く付く程度にサネをはめて下さい。
- 壁際は合板などを挟んで隙間(3~4mm)を確保して下さい。
※ ゴムハンマーは平使いをして下さい。
※ フローリングをズラさないようにサネを差し込みながら施工して下さい。
接着剤ダマリができて歩行感が硬くなり割れやすくなります。
- ※ 1枚目は動かないように基準となる1枚目は動かないようにウエイト等で固定して下さい。
- ※ 施工時はやむを得ない場合を除き、フローリングの上に乗らないで作業をして下さい。



<クリアランスの確保>

- 湿度により伸縮しますので気候条件・季節・室温などの影響を考慮して施工して下さい。
通常は軽く触れているか空いている程度で冬場の乾燥時期は気持ち空け気味で施工して下さい。
- 壁際は必ず壁際から**2~3mm**程度のクリアランスを空けてください。
(地下室や湿気の多い場所・地域では更に隙間を取ってください)
- 敷居、ドア一枠、框等と平行する部分には**2~3mm**程度のクリアランスを設けてコーキング処理をして下さい。
両端が敷居などの場合は、それ以上の十分なクリアランス確保が必要です。
- 掃きだし窓のサッシなどは結露などによる水濡れの可能性が高い為、端部にタッチアップ用の塗料を塗り、コーキング剤などでしっかりと防水処理をして下さい。
- 玄関から廊下、リビングまでなど縦方向に長く連続して施工する場合や、片側もしくは両側が上がり框・サッシ・敷居などで隙間を設けない突き付け施工になる場合は、波打ち・突き上げを防ぐ為、短辺サネ接続部に**0.2~0.4mm**程度の隙間を空けて下さい。

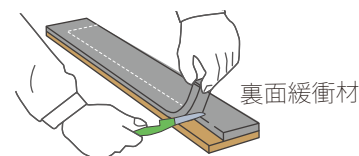


<際根太の設置>

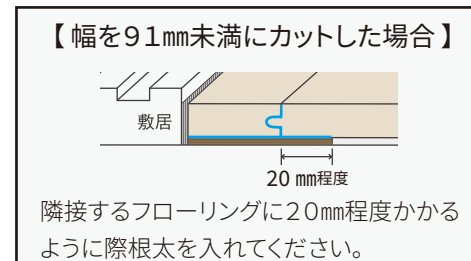
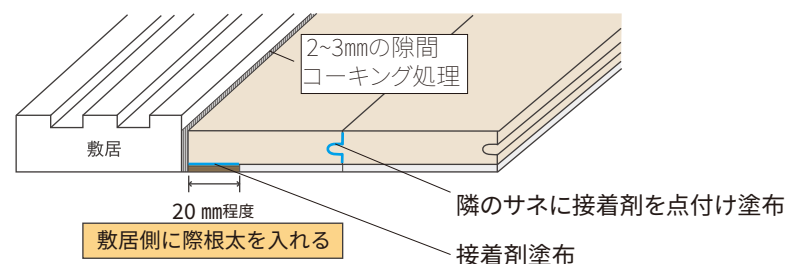
- 上り框、見切り、ドアの下枠、敷居等の納まり部分には、**4mm合板**を用意して頂き際根太を設置して下さい。
※ 必ず際根太を使用してください。使用しないと段差・隙間・たわみ・床鳴りの原因となります。
※ 4mm合板は同梱されておりませんのでご注意ください。

① 4mm合板を幅**20mm程度**にカットして際根太としてご使用ください。

② 際根太を設置する部分は、フローリング裏面の緩衝材を際根太より少し大きめの幅でカッター等で剥がしてください。



③ 際根太と裏面緩衝材を剥がしたフローリング裏面を接着剤で固定して下さい。



- 壁際の幅木下の納まり部分は下記点を協議・確認して頂き、際根太の使用・不使用を決めて下さい。

《際根太を使用する場合》

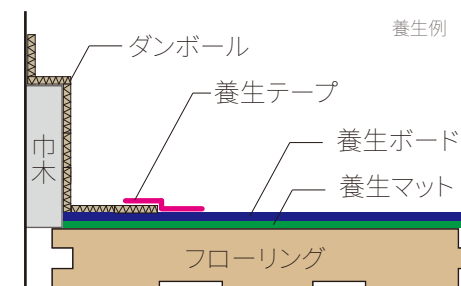
※ 壁際に家具を置くと傾く場合があります。

《際根太を使用しない場合》

※ 壁際を歩いたときや、家具を置いたときに幅木の下に隙間が生じます。
(隙間を軽減する為にスカート付き巾木がオススメです)

3 養生

- 床面の塵・ホコリ・粉などを掃除機で綺麗に吸い取った後、傷・汚れ・日焼けを防ぐために養生マットの上に養生ボードを重ね張りし施工面全体を覆い隠して下さい。
- 養生テープをフローリングに直接貼らないで下さい。粘着剤が付着し汚れや変色の原因となります。
※ 止む得ず養生テープを貼る必要がある場合は、弱粘着力養生テープを使用し短時間で剥がして下さい。剥がす際はゆっくりと剥がして下さい。
- 養生中に足場・重量物を置く場合は必ず合板などを敷き一点に荷重がかからないようにして下さい。



4 その他

- ワックス等のフロアコーティングは不要です。

🔥 床暖房用として使用する場合

- 発熱パネルメーカーの施工要領に従い弊社製品との適合を十分に確認した上で施工して下さい。
- 床暖房パネルを含めた下地が正しく施工されている事を確認して下さい。
- 床暖房パネル間・周辺部(合板部)に隙間や段差のないよう(0.5mm以下)に調整して下さい。
- 床暖房パネルの仕様に合わせてパネル上に合板を貼る等の対策をしてから施工して下さい。
※ 施工後は接着剤が硬化するまで(1週間以上)、絶対に床暖房の使用は避けて下さい。

SPEC. / 製品仕様

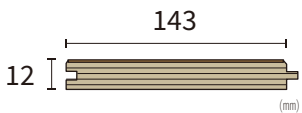
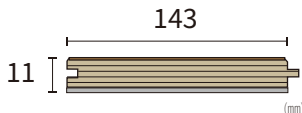
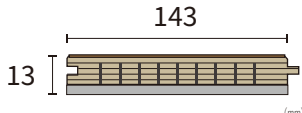
納期

※ 本商品は受注生産品です。

通常参考納期 45 days

※ 年末年始・G.W.・夏季休暇時期・祝祭日・年度末の間際は込み合いますので余裕をもってご注文下さい。
 ※ 在庫状況は事前にご確認下さい。
 ※ ご注文量や工場の混み具合によっても異なりますので都度お問い合わせください。
 ※ 配送は軒先渡しとなりますのでご了承ください。

フローリングタイプ

タフフローリングタイプ	形状	サイズ・入り数	設計上代 (税抜き・送料別途)
捨て貼り釘打ち仕様		12 x 143 x 1818 (mm) 12枚入り・3.12㎡ / ケース	12,000 円 / ㎡ 37,400 円 / ケース
直貼り仕様		11 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡ / ケース	13,200 円 / ㎡ 41,200 円 / ケース
直貼り遮音仕様		13 x 143 x 909 (mm) 24枚入り・3.12㎡ / ケース	15,600 円 / ㎡ 48,700 円 / ケース

About Products / 製品について

お知らせ

- ◇ 印刷の為、カタログ掲載の写真と実際の商品とは多少の相違があります。
- ◇ 本製品の仕様・意匠は品質改良や物価変動により予告なく変更することがあります。
- ◆ 膨張・伸縮によりキシミ音が出る事がありますが、製品の性質上やむを得ない現象ですので予めご了承ください。
- ◆ 湿度の変化により伸縮・反り・ヒビ・割れが生じる事が有りますが天然素材の性質上やむを得ない現象ですので予めご了承ください。

保証について

製品の到着後、数量・仕様・破損を必ず御確認下さい。万一損傷又は著しい変形や変質がある場合には直ぐに御連絡下さい。

※ 必ず施工前にご連絡下さい。

ご連絡の際は必ず画像を撮って送って下さい。

施工後の保証は一切致しかねますので必ず施工前にご確認下さい。

保証対象の製品に関しましては現場補修・返金・再製作のいずれかの対応をさせていただきます。

以下の場合には保証致しかねますので御了承下さい。

- ◆ 施工後に生じた不具合。
- ◆ 納品後の移動・輸送・不適切な取り扱いや不注意により生じた破損・損傷。
- ◆ 天変地異(地震・火災・水害等)や特殊環境などによる変形・損傷。
- ◆ 規格外の仕様・サイズで製作された製品。

使用上の注意

- ◇ 日常生活により発生する細かい傷、塗装面の日焼けや摩耗、軽微な隙間などに関しては予めご了承ください。
- ◇ 土足で使用される場合は、使用期間に関わらずヒール傷、小石などによる引っかき傷、雨水の影響による膨張などが避けられないことをご了承ください。
- ◇ 面取り部やサネ部分は耐水・防汚性はございませんので、汚れなどが付いた場合は速やかに拭き取って下さい。
- ◇ キッチンや洗面脱衣場などの水回りや雨水が吹き込む恐れがある場所、結露による水分が発生する場所は、フローリングが湿気を吸収して表面が膨張、劣化する可能性がありますので、十分換気を行ってください。
- ◇ 温風ヒーターやホットカーペットなどの暖房器具から放出された熱が過度に加わると、その部分が割れたり、隙間が生じたり、変色したりする原因になりますので、ご注意ください。
- ◇ 市販の粘着テープは、時間の経過とともに粘着力が強くなり、剥がす時にフローリングの表面を傷める可能性がありますので使用しないで下さい。
- ◇ テーブルや椅子を引きずると、フローリングの表面を傷めることがありますので、脚元にフェルトを張ることをおすすめします。
- ◇ ピアノや大きな家具を設置する場合は、下地強度など構造上の問題がありますので、事前に施工店様にご確認ください。

メンテナンス方法

仕上げ	高圧メラミン化粧板
日常のお手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 表面の塵やほこりを掃除機などで除去して下さい。 ◆ 固く絞った雑巾で水拭きして下さい。 ※ びしょ濡れのモップ・雑巾などのご使用は避けて下さい。 ※ 面取り部やサネ部分は耐水・防汚性はございませんので、汚れなどが付いた場合は速やかに拭き取って下さい。 ※ 静電気吸着型の清掃具は静電気を発生させる恐れがありますので使わないで下さい。 ※ 砂ホコリは表面に傷がつく恐れがありますので速やかに清掃して下さい。
頑固な汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中性洗剤を水で希釈して固く絞った雑巾で汚れを拭き取って下さい。 ◆ メラミンスポンジに水を含ませて拭き取って下さい。
ワックスがけ	不 要
補修方法	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 耐傷性に優れたフローリングですが、傷が全く付かないという訳ではありません。補修用のクレヨン・スティックタイプの補修材などをご使用頂き補修して下さい。難しい場合は補修専門業者にご連絡して下さい。